

## 人材育成学会・第44回研究会のお知らせ

### 「越境学習者が獲得した知識を、どう組織に還元するか」

近年、越境学習という考え方が注目を集めるようになってきました。個人にとっては、キャリア自律の重要性が指摘されています。すなわち、自分らしい価値観・興味・関心を把握し、それによって自分を律しながら主体的にキャリア形成できることが個人に求められているといえます。他方、企業にとっては自前主義による経営の限界が露呈しつつあります。企業にとっては、常に開放性を確保し、外部から価値ある知識を獲得することが求められています。

このような個人と企業の状況に対応する学びが越境学習です。越境学習とは、個人がホーム(居心地のよい慣れた場所)とアウェイ(居心地が悪く慣れない場所)を行き来し、違和感、葛藤、もどかしさなどを味わいながらも、その分刺激を得て、ホームには存在していなかった新鮮な視点や知識を獲得する学びを意味します。

この越境学習の重要性は注目されているものの、その定義と効果は、まだ曖昧であると言われています。さらに、越境学習者が新鮮な視点や知識を獲得しても、企業が簡単にそれを受け入れるとは限りません。場合によっては、企業がその新鮮な視点や知識を拒絶するだけでなく、越境学習者を迫害してしまうような事象も散見されます。

そこで、本シンポジウムでは、「越境学習者が獲得した知識を、どう組織に還元するか」というテーマについて考えます。シンポジストとして、「專業禁止」という考え方を早くから導入し、社員に越境学習を促すとともに、その外部の視点や知識を社内で共有し組織文化を更新していく仕組みを取り入れてきたエンファクトリーの加藤氏、大企業の人材が12か月程度ベンチャー企業で働き、価値創造や事業開発に取り組むレンタル移籍という仕組みを構築し、日本の越境学習のフロントランナーとなったローンディールの原田氏にご登壇いただき、両社の取り組みをご紹介いただき、かつモデレーターの石山が越境学習の定義と効果を概説したうえで、3名で越境学習の効果を組織にいかすための考え方を徹底的に議論いたします。

今回もZOOMによるオンライン方式での研究会となります。シンポジストの報告をもとに、参加者も交えて話し合いをすることで、越境学習について理解が深まればと考えています。多数の会員の方の参加をお待ちしております。

#### 【シンポジスト】(五十音順)

加藤 健太氏 (株)エンファクトリー 代表取締役社長 CEO

原田 未来氏 (株)ローンディール 代表取締役社長

#### 【シンポジスト・モデレーター】

石山 恒貴 法政大学大学院政策創造研究科 教授

## 事 項

- 日 時 2022 年 3 月 20 日(日) 13:30～ 16:30
- 研究会の方法:ZOOM によるオンライン方式
- 研究会プログラム
  - 13:10～ ミーティングルームへの入場
  - 13:30～13:35 開会のご挨拶・プログラム説明
  - 13:35～14:50 シンポジストからの報告
  - 14:50～15:00 休憩
  - 15:00～16:25 シンポジスト間の討論、参加者を交えた質疑応答・討論
  - 16:25～16:30 終了の挨拶
  
- 参加費: 今回は会員のみ参加とし、参加費は無料とします。
- 申込方法:Eメールに次の事項を記載し、下記の研究会事務局にお送りください。
  - ①お名前 ②ご所属 ③会員番号 (会費を既にお支払いいただいております、会員番号が未定の方は「会費支払済」とご記載ください)
  
- 参加通知:研究会が開催されます ZOOM のミーティングルームへのアクセス権限は、期限内に参加申込された方のみ付与されます。ミーティング参加の ID およびパスワードは、Eメールでお知らせします。
- 受講票:上記のミーティング参加の ID およびパスワードの発行をもって受講票といたします。
- 申込み期間:2022 年 3 月 4 日(金)～2022 年 3 月 17 日(木)
- 送付先: 〒158-8630 東京都世田谷区等々力 6-39-15  
学校法人産業能率大学内 人材育成学会 研究会事務局宛  
JAHRD@hj.sanno.ac.jp / 03-5758-5501(Fax)